

会 議 報 告 書

会議名	第7回 第2次 21世紀矢板市総合計画 策定検討委員会
日 時	平成22年4月22日(木)午後7時00分～8時50分
場 所	市役所 3階 第一委員会室
出席者	市 只木秘書政策室長、鈴木政策班長 政策班 赤羽主幹、和田副主幹、木下主査、手塚主査、松岡主査 策定委員 9名

1 開 会 19:00
開会及び資料の確認

2 あいさつ(会長)

今日は、この検討委員会でまとめた「中間提言書(案)」と骨子(案)について検討していきますので、皆さんの忌憚のないご意見等よろしくお願ひします。

3 検討事項(進行:会長)

中間提言書(案)について(事務局説明)

前回までに6回の会議を開催して総合計画の基本構想を作ってきたが、事務局にて体系的にまとめた「中間提言書」を作成したので、内容について検討いただきたい。

* 資料に沿って説明



第1部 基本構想について

第1章 矢板市の良いところ

「現状と将来の見とおし」 P2～

(委員)【総括】 環境都市宣言と景観まちづくりをセットにしてみたらどうか。

第1部の最後に「その他」を設定し、「環境宣言」とは別の「美しい街並み(景観)への取組み」を矢板市独自の取組みとし、新たな項目を設定する。

第2章 人口フレームについて P3～

(委員) もっと交流人口を積極的に捉えて、定住人口だけでなく交流人口を増やす取組みを行ってみたいかどうか。また、その中で目標値なども設定することも必要。

第3章 将来都市像について P4～

「各論：まちづくりの基本方針について」

(委員) 子育てについて、保育所(園)と幼稚園の所管が違うので と でそれぞれ挙がっているが、「放課後の児童の受け入れ」については(案)ではなく(意見)の項目へ入れたほうが良い。

(委員) スポーツについての項目は明記されているが、「ともなり文芸まつり」のような文化的なことが載っていない。「矢板らしい」取組みで、とてもすばらしい内容なのに、もったいない。どこかの項目に入れて欲しい。もっと積極的にPRすべき。

「教育」か「文化」の分野で入れることを検討する。

「自然環境」に関連して、どうせインフラ整備をするなら景観にこだわり、「車でふらっと降りてみたい街」「歩いてみたい街」を目指してみてもは。魅力的な雰囲気のみまちづくりを、どこかに明記してほしい。例)街並みがきれい、郷愁を感じる街、田園風景が美しい街、「矢板」を活かした美しい街

どの項目に入れるかは、今後検討する。

第4章「将来都市構造について」 P6

(委員) 新幹線を実施しない場合の、それに替わる「新たな重要施策」をもう少し具体的に表記したほうが良い。例)スマートIC、4号バイパスなど

第2部 基本計画について P7

(事務局) 基本計画についても、各施策について折角議論いただいたので、「矢板市の悪いところ」を今後の課題と捉え、提言書の中へ盛り込む。

(事務局)

約半年間の成果を計画の体系的にまとめたが、中身については皆さんの本当に良い意見を入れながら作成できた。再度整理した案を送付し、次回内容を検討することとする。

骨子(案)について

(事務局) 4月から庁内においても正式に策定委員会を発足し検討が始まり、計画の名称は(仮称)を取って正式に「第2次21世紀矢板市総合計画」になった。先ほどの提言書を基に作成した骨子(案)について内容を検討していく。

人口フレームについては、一部外部委託し数値を作成。現状の指数や動態を勘案し、算出した。

* 資料に沿って説明

(委員)大田原市は、国勢調査時の調査人口、特に20歳代の人口が極端に多い。大学があるためだと聞いている。

(委員)矢板市の人口分布は20歳以下については全国平均ぐらいだが、極端に20歳代前半の人口が少ない。学生の転出、就職等色々理由はあるだろうが、施策的に増やす努力も必要だと思う。

今後の進め方

次回は、矢板市の財政状況や事業ごとの取組み状況などについて説明する。

今後は、骨子(案)の内容について検討すると共に、並行して基本計画(具体的施策)の部分について検討していく。

次回は5月20日(木)に開催する。

4 閉会 20:50